

長野市監査委員告示第12号

地方自治法第 199条第14項及び第 252条の38第 6 項に基づき、長野市長、長野市教育委員会及び長野市選挙管理委員会から措置を講じた旨の通知があったので、同項の規定によりその内容を公表します。

令和 8 年 9 月 2 日

長野市監査委員	下	平	嗣
同	川	上	馨
同	寺	沢	さゆり
同	北	沢	哲 也

措置の通知書

令和 7 年度 随時監査（7 監査第 96 号）分

（長野市長分）

指摘事項及び意見	措置（改善）状況
（指摘事項） 1 設計積算について （報告書 7 ページ） （1）ボブスレー・リュージュパーク 7 カーブバリアー撤去工事において、設計付見積書の設計諸経費率は、長野市建設技術委員会の通知「小規模工事の諸経費率の取扱いについて」により 80%以下で算出する必要があるところ、60%以下で計上していた。 上記通知に基づき適正な積算を行うとともに、当工事の設計積算の実務を事務職員が行っていたが、今後は、技術職員が在籍する部局との連携を図りながら、チェック体制の更なる強化に努められたい。 【スポーツ課】 （2）濁沢防災工事において、当工事はフレックス工期契約を採用しており、当初設計時に含まれていた冬期期間が、契約時に確定した工事着手日より冬期期間外となったにもかかわらず、設計変更時に現場管理費の冬期補正を削除していなかった。 市建設工事フレックス工期契約制度に基づく、適切な諸経費の算出を行われたい。 【維持課北部土木事務所】 2 火災保険の加入期間について （報告書 7 ページ） 国補茶臼山動物園アムールトラ展示複合施設建設電気設備工事、国補戸隠中社ケーブル移設工事の 2 件において、特記仕様書で火災保険の加入期間を「工事期間に加え完了検査までの 14 日間」と定めていたが、実際の加入期間は工事期間のみとなっていた。 特記仕様書に基づく、適正な事務処理をするよう受注者に対して指導、徹底されたい。 【公園緑地課、情報システム課】	長野市建設技術委員会の通知「小規模工事の諸経費率の取扱いについて」に基づき適正な積算を行う。また、工事实務に際しては、技術職員が在籍する部局と連携を図り、チェック体制の強化に努めていく。 （スポーツ課） フレックス工期を適用する際は、実際の施工条件を反映した積算に努めるとともに、設計変更時に適切な諸経費の算出を行えるよう、複数の職員により確認するなどチェック体制の強化を図った。 （維持課北部土木事務所） ・再発防止に向け、施工計画書受領時の確認を徹底するとともに、受注者に対し特記仕様書に基づく適正な事務処理を行うよう指導を行った。 （公園緑地課） ・適正な火災保険の加入期間となるよう、受注者へ指導することで改善を図った。 （情報システム課）

(意見)

1 適切な工事発注について

(報告書 7 ページ)

- (1) 昭和保育園グリーストラップ更新外工事において、小規模工事の業者選定について、複数業者からの選定を検討せずに一者随意契約としていた。また、選定理由を「緊急を要するため」としていたが、災害や不測の事態などの明確な緊急性は認められず、工事開始日などの工期設定も通常と変わらない状況であった。

今後は、発注前に随意契約とする正当な根拠を改めて検証し、透明性を確保した適切な発注に努められたい。

【保育・幼稚園課】

- (2) 和田沖農村公園遊具更新工事において、同一の工事現場での既設遊具の撤去工事が、現場を熟知するという理由のみで、工事期間を重複して分離発注されていた。

この結果、共通仮設費及び現場管理費がそれぞれの工事で計上されており、経済性の検討が不十分と認められた。また、施工業者間での工程調整に不必要な事務負担が生じており、効率的な工事執行を妨げる要因となっていた。

今後、工事内容に一体性が認められる場合は、諸経費の重複排除によるコスト削減及び一元的な現場管理による工程の円滑化・安全管理の徹底を図るため、原則として一括発注を検討されたい。

【農業政策課】

2 施工における現場状況の確認について

(報告書 8 ページ)

東福寺稲里線安全施設設置工事において、カラー塗装路面標示及び白線塗り直しを実施した箇所の路肩に大量の土砂が堆積していた。

提出された施工前写真を確認したところ、当該土砂は施工前から白線部及び路肩に存在しており、施工時にも撤去していなかった。土砂が堆積することにより白線や舗装が汚損し、路肩の排水機能が著しく低下している状態は、維持管理・安全管理

工事発注に当たり、関係法令等を確認し、適正な根拠に基づき発注を行うよう職員に周知徹底を図った。

(保育・幼稚園課)

同一工事場所での一括発注により、共通経費削減や安全性確保、工程の円滑化等が図られることから、発注前に工事内容や施工場所などを勘案し、工事発注の適正化を図るよう、周知徹底を図った。

(農業政策課)

路肩に堆積した土砂の撤去を実施した(令和 8 年 3 月 6 日実施済)。

事前の現場確認により土砂が堆積している箇所については、適切な措置を講ずるよう課内で周知徹底を図った。

(道路課)

上の不備である。

今後は、事前の現場確認を確実にを行い、清掃・土砂撤去等の下地処理を十分に行った上で施工されたい。また、施工後も道路の機能が十分に発揮できているか、状況を確認されたい。

【道路課】

3 旧作新学校の活用について

(報告書 8 ページ)

旧作新学校本館保存修理工事では、市指定文化財である当館の老朽化に伴う地域からの強い要望により、建築当時の姿への復元を図る全面的な保存改修工事が実施された。当館は明治期から当地の教育を担ってきた校舎として大切に受け継がれ、地域の誇りとなっている。事業費約 1.7 億円の財源の一部に、個人や地元の企業から 1,364 万円余の寄付を受けていることから、その期待の大きさが伺える。

今後は、下氷鉋小学校が管理し、主に児童の教育活動に利用するとのことであるが、資料の展示のほかに学習室や多目的室も明治期の雰囲気を保って整備されており、地域の方々にも開かれた施設、また、学びの場として、地域全体で文化財の維持・活用が図られるよう、活用及び管理の方法について十分検討されたい。

【文化財課】

当面は学校敷地内であることを考慮し、下氷鉋小学校を中心に学習活動やコミュニティスクールでの利用などを行いながら、地域にも開かれた文化財、多様な交流の場となるよう、市と学校、更北地区住民自治協議会などが協働しながら活用のための仕組みづくりに向けた検討を進めている。

(文化財課)

措置の通知書

令和 7 年度 随時監査（工事監査・後期）（7 監査第 96 号）分

（長野市教育委員会分）

指摘事項及び意見	措置（改善）状況
（指摘事項） 旧作新学校の活用について（報告書 8 ページ） 旧作新学校本館保存修理工事では、市指定文化財である当館の老朽化に伴う地域からの強い要望により、建築当時の姿への復元を図る全面的な保存改修工事が実施された。当館は明治期から当地の教育を担ってきた校舎として大切に受け継がれ、地域の誇りとなっている。事業費約 1.7 億円の財源の一部に、個人や地元の企業から 1,364 万円余の寄付を受けていることから、その期待の大きさが伺える。 今後は、下水鉋小学校が管理し、主に児童の教育活動に利用するとのことであるが、資料の展示のほかに学習室や多目的室も明治期の雰囲気を保って整備されており、地域の方々にも開かれた施設、また、学びの場として、地域全体で文化財の維持・活用が図られるよう、活用及び管理の方法について十分検討されたい。 （学校教育課）	現在下水鉋小学校では、主に旧作新学校を児童の学習活動で利用することを想定しているが、施設を利用したいとの要望は地元の方々からも寄せられており、地域の誇りである文化財に対する熱い思いを認識している。 今後は、管理規約の整備や関係者との調整会議などについて、文化財課とともに検討しながら、より多くの地元の方々に活用していただけるよう取り組んでまいりたい。 （学校教育課）